

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス カラット		
○保護者評価実施期間	R6年11月1日		R7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R6年3月1日		R7年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年1月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・自分の好きなことややりたいことなどを発見して、それを伸ばしていくことができる。	・自分の好きなことややりたいことなど自主的に選択してもらうことで、自信がつき、自分の生活の中でやりがいを見出せるようになり、自尊感情が向上する。	・創作活動で作った作品展示や自己目標など部屋に掲示したりして自己肯定感を高めていく。 ・近隣の公園や広場で、サッカーや野球、追いかっこや遊具遊びなどをして体力をつける。 ・季節にあった行事など楽しみのある活動を提案していく。
2	・小学1年生から高校2年生までの子どもたちが遊びや運動、学習を通して関わり合い、コミュニケーション能力を高められる。	・社会性を身につける中で、子ども同士で教えられたり、教えたりする環境を作り、上級生が下級生の面倒をみながらお互いに関わり合いながら人間関係を学んでいくことができる。	・室内、外共に活動のバリエーションを増やしていけるように職員や他事業所等から広くアイデアを募集していきたい。 必要な道具などは安全性や使い方など相談し購入を検討していく。
3	・発達に合わせてプログラムの取り組みに変化をつけ、充実した活動になるよう工夫している。	・同じプログラムでも、発達に合わせてアプローチを変えている。子どもたちがチャレンジできる環境を整え、自ら意欲的に取り組めるように職員同士で検討している。	・子どもたちの発達段階について、支援計画や専門的支援を各職員が理解を深めている。朝礼や昼礼時に進め方を具体的に共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との関わりや保育園や児童クラブとの情報共有についてが課題。	・自立支援協議会への参加を通じて、地域の情報を知る。	・子ども部会等を通じて情報収集をもとに関係機関との連携を図っていきたい。
2	・保護者会や保護者通し交流ができていない。	・感染症の流行を考えると、一堂に集まって開催することによりリスクを感じる。	・地域の感染症流行状況や教室での子どもたちの様子など丁寧に観察し、一度に集まる人数や時間を細かく設定し、慎重に企画をしていきたい。
3			